

## 八雲町アイヌ文化財保存活用業務 公募型プロポーザル講評

本プロポーザルに係るプレゼンテーションは、八雲町アイヌ政策推進地域計画に基づき、八雲町内にあるアイヌ文化財の保存及び活用を図ろうとするものであり、町内に残るアイヌ文化を知るうえで重要な石碑2か所4基の保護、アイヌとの歴史的事実や伝説を解説する看板の整備、それらを含めてWebページにおいて八雲町におけるアイヌ文化についてわかりやすくまとめて多言語化で発信し、リーフレット等を作成して周遊を促すとともに、その他独自提案を含めたテーマに基づき、創造性豊かな技術提案をいただきました。

技術提案者によるプレゼンテーション及びヒアリングの中で焦点があてられたのは、アイヌ文化への理解とアイヌの方々への配慮という点と、八雲町におけるアイヌ文化について、町内と町外、子どもと大人等、様々な属性をもつ人々にどのようにして伝えていくのかという点でした。

提案内容には、これらへの考え方や実現方法がさまざまに盛り込まれており、選定委員が的確性や独創性、実現性などの視点に基づき審査するうえでの大きなポイントでもありました。

選定委員会は、プレゼンテーション及びヒアリングの実施後、第1次審査の評価と合わせ最終的な評価を行い、各テーマに対する技術提案について、本業務の内容を十分に理解し、将来を見据えた具体的かつ意欲的な提案と履行体制であること、また各委員による評価点の合計点は、業務遂行が適切に可能と判断できる点数を上回っていたことから、技術提案者を最優秀（受注候補者）として選定いたしました。

八雲町アイヌ文化財保存活用業務

プロポーザル選定委員会 委員長 八雲町 副町長 成田 耕治